

IKEYA FORMULA

PILLOW

TENSION ROD

ピロ・テンションロッド

アリスト-JZS160・JZS161

⚠重要 必ずお読み下さい

※ 本製品はゴム等の振動する部分を無くし、ダイレクト感を増す構造になっているので、ボルト、ナット類を必ず定期的なまし締め作業を行って下さい。

※本製品に強い衝撃が加わった時、そのまま使用せず、必ず部品交換を行うか、クラックチェック(レッドチェック)を必ず行い、異常が認められた部品については、交換して下さい。弊社にても、クラックチェック等も行っておりますのでお問い合わせ下さい。

取扱説明書

※本書はご使用前に必ずお読み下さい。

※作業終了後、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

IKEYA FORMULA CO.,LTD

(はじめに)

この度は、イケヤフォーミュラ「ピロ・テンションロッド」をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

弊社の取扱説明書は、お客様が本製品を安全に正しく装着し、機能を十分に発揮させる為に、取り付け御使用になる前に必ずお読み下さい。

○ 本書では下記のようなマークをし、お客様に危険レベルを表示しております。

この取扱説明書は「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しております。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。



警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合



注意 取扱いを誤った場合に使用者が傷害を負う危険が想定される場合、及び物的損害のみ発生が想定される場合

重 要

- ・ 本書は作業を行う前に必ず読み、よく理解した上で作業を行って下さい。
- ・ 取り付け、取り外しの作業はメーカー発行の整備要領書と本書を併用して行ってください。

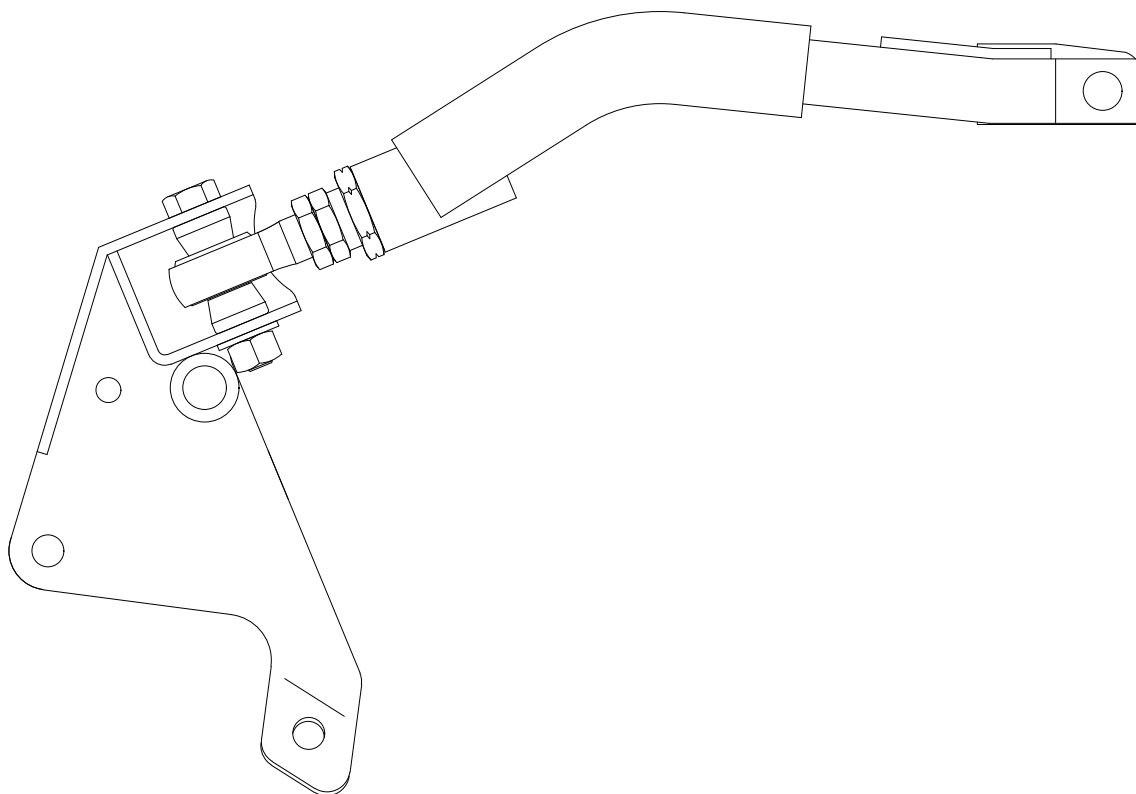


警告

- 本取扱説明書は、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
- 取り付け、取り外し、設備の整った自動車整備工場（認証・指定工場）または、それに準ずる専門店で行ってください。
- お客様、又は第三者が本製品および付属品の誤使用やその他の不具合によって受けられた損害については、当社は一切の責任を負いませんのであらかじめ御了承ください。
- 本製品の分解、加工等は絶対行わないで下さい。分解、加工等が認められた場合、クレーム等当社は一切の責任を負いません。又、修理・補修等の作業等も一切行いませんのであらかじめ御了承ください。
- 本製品は、日本国内での使用を前提に製造しております。日本国外にて発生したクレームは一切お受けいたしません。
- 本製品および付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。御了承ください。
- 本書は予告なく内容を変更することがあります。御了承ください。
- 本製品を譲渡する場合は、必ず本取扱説明書もお渡し下さい。
- 本製品は保安基準適合品ですので、一般公道でのご使用の際は保安基準及び道路交通法・道路運送車両法に従って御使用下さい。



PILLOW TENSION ROD



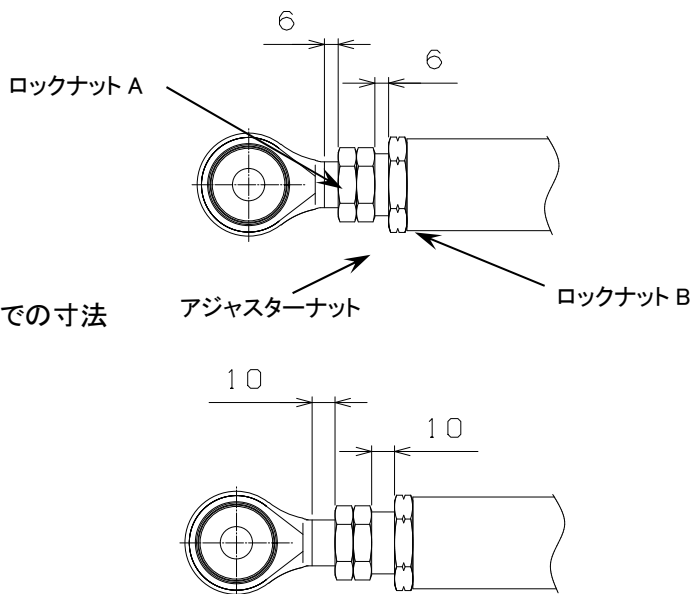
【構成部品】

ピロ・テンションロッド ASSY(L・R)	各 1
メンバーロワブレース M10 ボルト	2 本
ピロテンション取付けボルト ノーマルロワアームの場合	M14 L=75×2
	M14 L=35×2
	M14 ナット×2
ピロテンション取付けボルト イケヤフォーミュラロワアームの場合	M14 キャップボルト L=40×2
	M14 L=35×2

【ピロ・テンションロッド ロッドエンド部】

基準値

ロックナット-アジャスターナット間が下記の寸法の時、純正寸法と同等になります



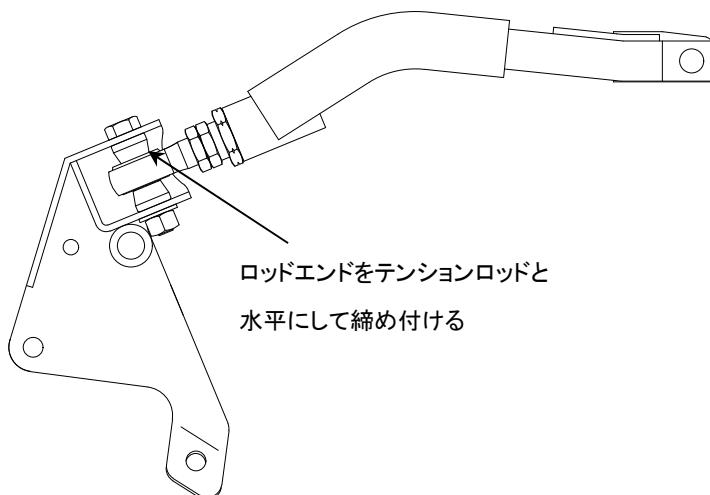
最大値

ロッドエンドからナットまでの寸法

調整法方



- ・テンションロッドとロワアームの接続部のボルトを緩めてから、ロックナットA、ロックナットBを緩めアジャスターナットを回して調整する。調整後はロックナットにて締め付けを行って下さい。
- ・ロッドエンドとテンションロッドが水平になる様にして、締め付けて下さい。



**警告**

・テンションロッドとロワアームの接続部のボルトを緩めずに調整を行うと本製品及び車輛の破損を招き、重大な事故につながる恐れがありますのでご注意ください。

テンションロッドとロワアームの接続部のボルトを緩めてから、ロックナット A、ロックナット B を緩めアジャスターナットを回して調整する。調整後はロックナットにて締め付けを行って下さい。

ロワアーム接続部 締め付けトルク	132N・m～152N・m {13.5Kgf・m～15.5Kgf・m}
ロックナット A 締め付けトルク	274N・m～294N・m {28.0Kgf・m～30.0Kgf・m}
ロックナット B 締め付けトルク	333N・m～353N・m {34.0Kgf・m～36.0Kgf・m}

**注意**

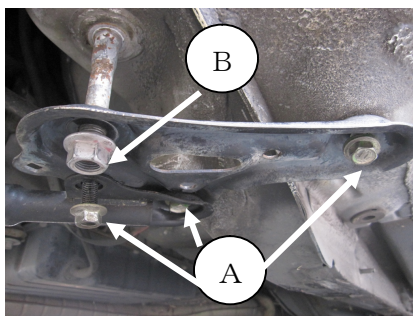
上記数値を超えてのご使用は、大変危険な為おやめ下さい。

また調整後は確実な締め付けロック確認を行って下さい。

<取り付け手順>

ノーマルテンションロッド取り外し(片側説明)

- 1) ジャッキアップにて車輪を浮かし車体を固定し、ホイールを取り外す。
- 2) ロワアームとノーマルテンションロッドの接続部のボルトを取り外す。
- 3) メンバーロワブレース取り付けボルト(6ヶ所、図中 A)を取り外し、
ノーマルテンションロッド取り付けナットを取り外す(図中 B)



- 4) フロントショックアブソーバーASSY を取り外す。

**注**

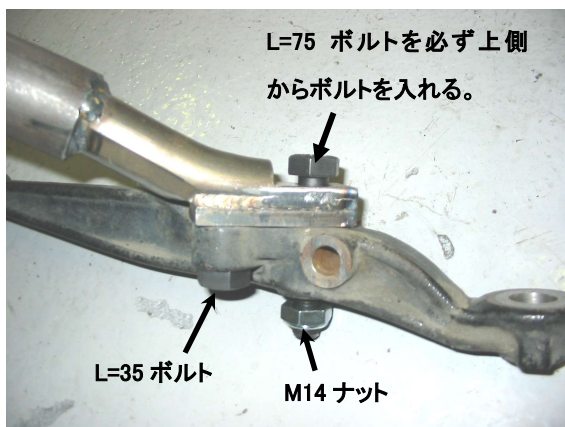
フロントブレーキホース、ABS センサーハーネスに十分注意してください。

ピロ・テンションロッド取り付け(片側説明)

1) イケヤフォーミュラ「ピロ・テンションロッド」のロッドエンド部を参考値に合わせ仮締めする。

2) ノーマルロワームに取付ける場合

- ① 付属品ボルト L=75 のボルトをテンションロッドの上側から取付けて、付属品のナットで仮締めして下さい。

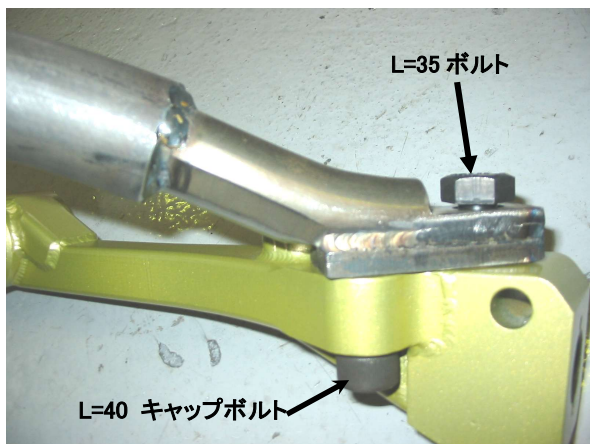


- ② 付属品ボルト L=35 のボルトをテンションロッドの下側から仮締めして下さい。



L=75 のボルトの下側から取付けるとショックアブソーバーの破損につながりますので注意して下さい。

★イケヤフォーミュラフロントロワームと併用して取付ける場合



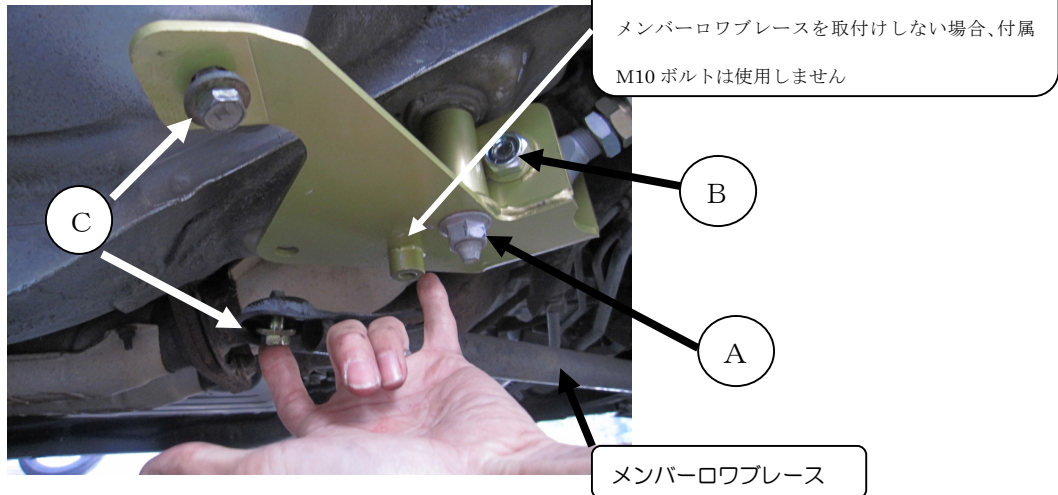
付属品ボルト L=35 と L=40 を仮締めして下さい。



注意

車輛個体差が非常に多い為、上記作業を必ず行い作業を進めて下さい。おこたりますと各部干渉の恐れがあるばかりか、本製品破損を招く恐れがあり重大な事故につながる恐れがあります。

4) 車体側より取り付けを行い、メンバーロウブレースとテンションブラケットと「ピロ・テンションロッド」を取り付けし締め付ける。



取り付け時規定トルク	113N-m～132N-m
テンションブラケット取付けAナット	{11.5Kgf-m～13.5Kgf-m}
テンション取付けBボルト/ナット	
取り付け時規定トルク	58.8N-m～78.4N-m
ブラケット取付けCボルト/付属M10 ボルト	{6.0Kgf-m～8.0Kgf-m}

5) ロワアームと「ピロ・テンションロッド」を取り付けし締め付ける。

取り付け時 規定トルク	184N-m～204N-m {18.8Kgf-m～20.8Kgf-m}
----------------	--

6) タイヤ・ホイールを取り付け、ホイールナットにて締め付け車両を降ろす。

ホイールナット締付 規定トルク	108N-m～127N-m {11.0Kgf-m～13.0Kgf-m}
--------------------	--

7) 取り付け作業終了後、走行安全性及びタイヤ性能維持の為アライメント調整を必ず行って下さい。



取付け終了後アライメントを仮合わせした上でストローク確認し、図の丸の部位等ヘテンションロッド本体の干渉がない事を確認して下さい。おこたりますと本製品の破損を招くばかりか重大な事故につながる恐れがありますので、必ず行って下さい。



※ ナット類は定期的な締め付けロック確認を必ず行う様心掛けて下さい。

【ピロ・テンションロッド ロッドエンド部】

ロワアーム接続部 締め付けトルク	132N－m～152N－m {13. 5Kgf－m～15. 5Kgf－m}
ロックナット A 締め付けトルク	274N－m～294N－m {28. 0Kgf－m～30. 0Kgf－m}
ロックナット B 締め付けトルク	333N－m～353N－m {34. 0Kgf－m～36. 0Kgf－m}



・「ピロ・テンションロッド」ロッドエンド部は絶対に無理な調整を行わないで下さい。必ず参考値内にてご使用下さい。指定数値を超えてのご使用は本製品及び車輛の破損を招き、重大な事故につながる恐れがあります。

・「ピロ・テンションロッド」ロッドエンド部は絶対に無理な調整を行わないで下さい。必ず参考値内にてご使用下さい。指定数値を超えてのご使用は本製品及び車輛の破損を招き、重大な事故につながる恐れがあります。

※注意 車両の個体差により、ダンパーブラケットの加工が必要な場合があります。

- ・ 事故などでブラケットが曲がってしまったものなど
- ・ 下記の画像などの位置注意

